

【 短 歌 。 俳 句 。 川 柳 】

本誌編集室担当

短 歌

河川敷原色目立つテント群

炊事が煙西日に溶けて

●朝霞市 林 則雄

一本の竹に絡みし仙人草

あやに揺れをり初秋の風に

●東京都神津島村 石田希代子

散り急ぐ木の葉散々風まかせ

ひっかく熊手駆ける葉集む

●平塚市 田中博由

虫の鳴近く遠くに沁わたる

病に倒れ窓の外かな

●福知山市 嶋尾 充

新学期子供に負けじと気分一新

交通安全旗ふり見守る

●香芝市 高田尚昭

過ぎゆくや夏の夕べに鳴く声は

つくつく法師さびしさつものる

●愛媛県鬼北町 岸本繁義

俳 句

坪庭で世界征服咆ゆ蛙

●むつ市 一戸啓二

栗たわわ去年の腰籠日陰干し

●仙台市 菱沼俊行

正宗を冷やして二合夜鳴き蟬

●神栖市 安澤宏介

遠く見ゆ田の果てなりし雲の峰

●本庄市 入 利雄

どこ行くも自転車馳せて汗かいて

●本庄市 長谷川千鶴子

向日葵やみな頭たれ並びおり

●草加市 長谷部禎子

晴れ舞台立てばまといぬ秋の風

●戸田市 篠崎志津子

噴水に駆け寄る子らに鳩が飛び

●武蔵村山市 原野晴光

まんまるい月はおぼろに西の空

●塩尻市 大家協治

ため池の空きらめけり銀やんま

●塩尻市 奥原光夫

高野連100回大会大西日

●塩尻市 小野正平

手つきなれ飾る灯籠盆支度

●塩尻市 清澤美恵子

夏祭ひきづな重き雨の中

●塩尻市 町田まさ子

比叡映え残暑厳しき浮き御堂

●門真市 藤岡春男

白鷺の知らぬと我を置いて発つ

●周南市 光清 章

糸蜻蛉水辺にそつと卵産む

●普通寺市 宮脇文雄

秋近し早く実れよ米不足

●佐世保市 阿部淑子

夏祭り菱千寸すこ次の風

材布には小浅ばかりが着え続け

白寿までまだ余生あり卒寿超え